



Title	2015年世界保健デーのテーマ「食品安全」について
Author(s)	関, 淳一
Citation	目で見えるWHO. 2015, 58, p. 4-5
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/86672
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

2015年世界保健デーのテーマ「食品安全」について

公益社団法人 日本WHO協会理事長 関 淳 一

6月11日、大阪歴史博物館にて「食と健康」と題してフォーラムを開催致しました。その内容を主催者挨拶及び講演録として報告いたします。

世界保健機関(WHO)では、WHOが正式に発足した1948年4月7日を記念して、4月7日を世界保健デー(World Health Day)と定め、毎年、その年にWHOが重要と考えるテーマとスローガンを発表します。

今年のテーマは“Food safety”で、スローガンは“*How safe is your food? From farm to plate, make food safe*”です。厚労省の公式訳は「食品安全」と「あなたの食べ物はどれくらい安全ですか」でした(図1)。

2015世界保健デー
(4月7日)

FOOD SAFETY;
How safe is your food?
from farm to plate, make food safe

食品安全:
あなたの食べものはどれくらい安全ですか?
(厚労省訳)

5 keys to safer food

- Keep Clean
- Separate raw and cooked
- Cook thoroughly
- Keep food at safe temperatures
- Use safe water and raw materials

<http://www.who.int/mediacentre/news/releases/2015/food-safety/en/>

図1 2015年世界保健デーのテーマ

このテーマが選ばれた背景について、WHOのマーガレット・チャン事務局長は「今や、私たちの日常の食卓の上のお皿の中にある食べ物の材料や加工の過程は、完全に国境を越えてグローバル化しており、もし食べ物に由来する何か問題が起こっても、その原因の究明は非常に複雑になっている」と述べています。

<http://www.who.int/mediacentre/news/releases/2015/food-safety/en/>

これは、私達も、日頃のニュースなどで、常に実感

していることです。

ただ、WHOは、食品の安全については、非常に早くから注目しており、1980年代の終わり頃から、加盟各国に対して、「全ての国々の間で、共通の認識を持って、各国は各々、食品安全の体制の強化に努めるよう」求めています。

日本でも、2003年に食品安全基本法が制定され、内閣府に食品安全委員会が設置されました。委員会には、現在11の専門委員会があり、各々その分野の専門の研究者により構成されています(図2)。

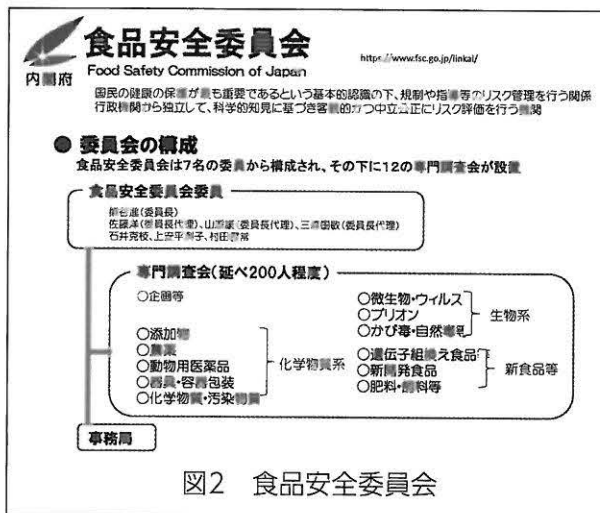


図2 食品安全委員会

食品安全委員会の成立の過程、活動の詳細については、当協会の機関誌「目で見えるWHO」第57号に、姫田尚事務局より御寄稿頂いておりますので御参考にしていただきたいと思います。

ただ、食品の安全確保というのは、非常に難しい課題でして、マーガレット・チャン事務局長の言葉にもあります様に、複数の国をまたぐ現実もありますが、それ以外にも、今は製造や流通、消費の形が常に変化しており、また新たな耐性菌の問題もあります。

WHOはスローガンに日本語には訳されていませんが、“From farm to plate, make food safe”という言葉を態々付けていますが、これも少し背景があると思います。

WHOは、2001年に「食品をより安全にするための5つの鍵」を発表し、2006年に「食品をより安全にするための5つの鍵マニュアル」という冊子を出版しています。趣旨は、食品が農家や酪農家、製造過程の人々や小売業の人々、そして消費者と渡っていくchainの各々に、食品安全に対する分担責任があるという、基本的な考え方の下で、そのchainの最後を担う小売販売の人達、そして消費者がより安全に食べ物を扱ったり、消費したりするときの実際のマニュアルを示したものです。(日本語版も冊子として出版されております。インターネットからもダウンロードできます)。

<https://www.niph.go.jp/soshiki/ekigaku/Five%20keys%20manual%20Japanese.pdf>

今回、私共はことしの世界保健デーのテーマ「食品安全」を少し拡大解釈して、「食と健康」と題してフォーラムを開催することに致しました。そこで、今回は食育の問題も含め「食と健康」について永年研究をなさっている大阪青山大学の東根裕子教授に「食と健康」～子どもの食生活と大人の肥満～と題した講演をして頂くこととなりました。

今日は私たちが生きていく上での根幹である「食」について、皆さんと一緒に少し立ち止まって考える、一つの機会となればと願っております。